

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成28年11月 2日

計画の名称	横手市における住みよい住環境及び水質保全の実現		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)	交付対象	横手市 (秋田県)
計画の目標			

秋田県生活排水処理整備構想に基づいた事業を推進するとともに、快適な生活環境の確保、自然環境の保全を図る。

計画の成果目標 (定量的指標)	①下水道処理人口普及率を45.0% (H22)から47.3%に増加させる。
-----------------	---------------------------------------

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
①下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口 (人) / 総人口*100	45.0%	46.6%	47.3%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	1,618百万円	A	1,282 百万円	B	C	336百万円	効果促進事業費の割合	20.8%
-------	------------	----------	---	-----------	---	---	--------	------------	-------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	事後評価の実施時期
事後評価の実施体制	計画期間終了後 (平成28年9月)
横手市下水道事業担当課により事業実施状況・指標の達成状況の確認および評価を実施。	公表の方法
	横手市のホームページにて掲載する。

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
									H22	H23	H24	H25	H26			
A1	下水道	過疎	横手市	直接	—	汚水 新設	横手第2-6処理分区 (未普及対策)	汚水管 φ=200mmL= 2.7km	横手市						100	
A2	下水道	過疎	横手市	直接	—	汚水 新設	横手第2-7処理分区 (未普及対策)	汚水管 φ=200mmL= 3.0km	横手市						300	
A3	下水道	過疎	横手市	直接	—	汚水 新設	増田第2処理分区 (未普及対策)	汚水管 φ=150mmL= 1.1km	横手市						30	
A4	下水道	過疎	横手市	直接	—	汚水 新設	増田第5処理分区 (未普及対策)	汚水管 φ=150mmL= 1.0km	横手市						100	
A5	下水道	過疎	横手市	直接	—	汚水 新設	平鹿第4-1処理分区 (未普及対策)	汚水管 φ=150mmL= 1.4km	横手市						350	
A6	下水道	過疎	横手市	直接	—	汚水 新設	雄物川第3-1処理分区 (未普及対策)	汚水管 φ=200mmL= 1.4km	横手市						140	
A7	下水道	過疎	横手市	直接	—	汚水 新設	十文字第3処理分区 (未普及対策)	汚水管 φ=150mmL= 0.4km	横手市						50	
A8	下水道	過疎	横手市	直接	—	汚水 新設	大雄第4処理分区 (未普及対策)	汚水管 φ=150mmL= 1.2km	横手市						30	
A9	下水道	過疎	横手市	直接	—	汚水 新設	設計	管渠実施設計 L= 4.0km	横手市						132	
A10	下水道	過疎	横手市	直接	—	汚水 新設	施設計画見直し	効率の事業計画策定	横手市						50	
										合計					1,282	

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
									H22	H23	H24	H25	H26			
										合計					0.00	

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
									H22	H23	H24	H25	H26			
C1	下水道	一般	横手市	直接	横手市	新設	管渠整備(単独路線)	汚水管φ=150~200mm L= 3.5km	横手市						323	
C2	下水道	一般	横手市	直接	横手市	新設	設計(単独路線)	管渠実施設計 L= 1.8km	横手市						10	
C3	下水道	一般	横手市	直接	横手市	新設	施設整備計画の策定	施設整備計画見直し	横手市						3	
											合計	336				
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				
C1	基幹事業であるA-1~8の補助対象路線と接続した単独路線の整備を一体的に行うことにより、下水道普及率の向上による公共用水域の水質保全が図られる。															
C2	基幹事業であるA-3, 5, 6, 8の補助対象路線と接続した単独路線の設計業務委託を行い、また、一体的に整備することにより、下水道普及率の向上による公共用水域の水質保全が図られる。															
C3	施設の整備計画を見直して、効率的な整備計画を策定する。															

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 横手市の住みよい住環境及び水質保全の実現に寄与するため、計画的かつ効率的に下水道を整備することで、下水道処理人口普及率の目標を達成した。(下水道処理人口普及率が3.0%増加) 			
II 定量的指標の達成状況	指標①(下水道 処理人口普及 率)	最終目標値	47.3%	目標値と実績値 に差が出た要因	下水道処理人口普及率は、目標値を上回って達成できた。
		最終実績値	48.0%		
		最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項(今後の方針等)					
<ul style="list-style-type: none"> 本計画においては、定量的指標はすべて達成することが出来た。 今後は、人口減少社会の到来等社会経済情勢の変化を踏まえた適切な汚水処理計画に基づき、引き続き計画的かつ効率的に汚水整備を行い、生活環境の改善、公共用水域の水質保全等、横手市の住みよい住環境及び水質保全の実現に寄与していく。 					